

## 短 報

## キオン属を細分する場合の学名 (大場秀章)

Hideaki OHBA: Scientific Names of Japanese Species of *Nemosenecio*, *Tephroseris* and *Senecio*, s. str. (Compositae)

キク科の分類体系にはさまざまな説があるが、1994年に出版されたBremerのAsteraceae: cladistics and classificationは、多くのキク科の専門家の協力下に纏められただけに、最近の研究成果をよく反映した、すぐれた総説ともなっている。私にはキク科全体に意見を述べる知識はないが、ヒマラヤのキク科の研究でNordenstamと議論し、広義のキオン属では形態上の相違で他の種群と明瞭に区別できる種群をキオン属から別属として分離するのが適切であると考えに至った。この立場で適切な学名を示した参考書が日本では見当たらないようなので、ここに紹介することにした次第である。なお、日本産のキオン属の種は最近、英文版Flora of Japan, Vol. III b (1995年)に、小山博滋により纏められており、よい参考となる。ちなみに、同書では日本産のコウモリソウ類は南・中央ヨーロッパ産の*Cacalia*から分離され、コウモリソウ属*Parasenecio* W.W.Sm. & Smallとして扱われている。

1) サワギク属 *Nemosenecio* (Kitam.) B.Nord. in Opera Bot. 44: 45 (1978).

従来サワギク節として扱われてきた種群で、筒状花の狭筒部が他の2あるいは3倍長になり、花糸の上部もあまり広がらない。東アジアに6種あり、日本にはサワギクが自生する。

*Nemosenecio nikoensis* (Miq.) B.Nord. in Opera Bot. 44: 45 (1978). サワギク。

2) オカオグルマ属 *Tephroseris* Rchb., Fl. Saxon: 146 (1842).

サワギクを除く広義の日本産キオン属の種は、筒状花の狭筒部が他とほぼ同長か少し長い程度で、花糸の上部が広がる4節に分類されてきた。オカオグルマと近縁種は総苞に萼状の苞がない。ユーラシアに約50種あり、1種が北アメリカに産する。

*Tephroseris furusei* (Kitam.) B.Nord. in Opera Bot. 44: 44 (1978). キバナコウリンカ。

*Tephroseris flammea* (DC.) Holub in Folia Geobot. Phytotax. 8: 173 (1973). タカネコウリンギク。

subsp. *glarifolia* (Cuf.) B.Nord. in Opera Bot. 44: 44 (1978). コウリンカ。

*Tephroseris integrifolia* (L.) Holub in Folia Geobot. Phytotax. 8: 173 (1973).

var. *spathulata* (Miq.) H.Ohba, comb. nov.

*Senecio aurantiacus* DC. var. *spathulata* Miq. in Ann. Mus. Bot. Lugd.-Bat. 2: 181 (1866). オカオグルマ。

*Tephroseris kawakamii* (Makino) Holub in Folia Geobot. Phytotax. 8: 173 (1973). ミヤマグルマ。

*Tephroseris pierotii* (Miq.) Holub in Folia Geobot. Phytotax. 8: 174 (1973). サワオグルマ。

*Tephroseris takedana* (Kitam.) Holub in Folia Geobot. Phytotax. 8: 174 (1973). タカネコウリンカ。

3) キオン属 (狭義) *Senecio* L.

総苞に萼状の苞がある。花糸の先端が狭まる。世界中に分布し、アフリカと南アメリカを中心に約1250種ある。

*Senecio argunensis* Turcz. コウリンギク。

*Senecio cannabifolius* Less. ハンゴンソウ。

*Senecio nemorensis* L. キオン。

*Senecio pseudoarnica* Less. エゾオグルマ。

*Senecio vulgaris* L. ノボロギク。

*Senecio scandens* Buch.-Ham. ex D.Don タイキンギク。

Koyama (1995) は本種をSynotis節に分類しているが、この節はC. Jeffrey and Y. L. Chen (1984) によりキオン属から分離された。

## References

- Bremer K. 1994. Tribe Senecioneae. In: Bremer K., Asteraceae: cladistics and classification, pp. 479-520. Timber Press, Portland (U.S.).
- Jeffrey C. and Chen Y. L. 1984. Taxonomic studies on the tribe Senecioneae (Compositae) of Eastern Asia. Kew Bull. 39: 205-446.
- Koyama H. 1995. Tribe 3. Senecioneae. In: Iwatsuki K., Yamazaki T., Boufford D. E. and Ohba H. (eds.), Flora of Japan III b: 35-53. Kodansha, Tokyo.